

まだ使えるけど  
どう使ったら  
いいんじゅう?

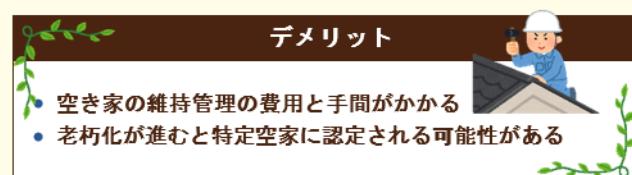
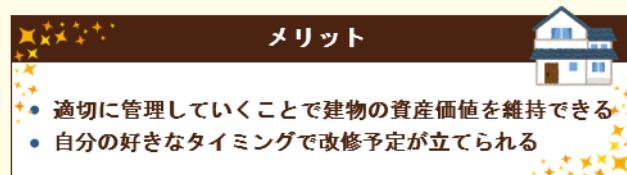
# いろいろな活かし方があります！

## 所有者自身で活用する場合

空き家を活用する際は、現在の間取りでよいのか、改修工事は必要かといったことを検討する必要があります。そのような相談は、お近くの建築士さんにするのがよいでしょう。

また、地域活性化を目的とした事業を空き家で行う場合、改修等にかかった費用の一部を補助する制度もありますので参考にしてみてはいかがでしょうか。

[補助制度・事業を活用しましょう！P.12](#)



## 賃貸に出す場合

空き家を売却したくはないが、自分で管理が難しいと感じる方は、賃貸として別の人へ活用してもらう

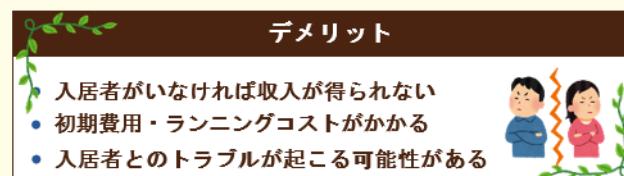
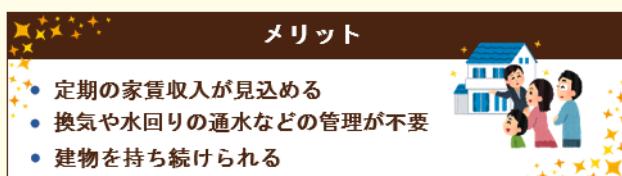
のも方法のひとつです。賃貸をお考えの方は、まず不動産屋さんに相談してみましょう。

[各種専門家に相談しよう！P.14](#)

不動産屋さんに心当たりがない場合は、「ひろしま空き家の窓口」に相談してはいかがでしょうか。

また、三原市の空き家バンクでは、賃貸の登録も行っています。

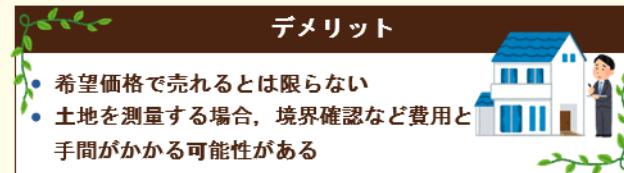
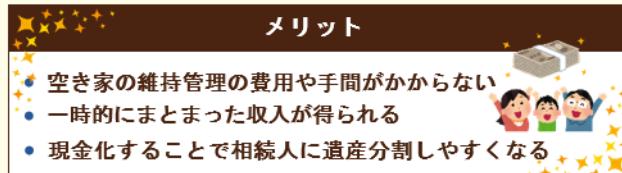
[補助制度・事業を活用しましょう！P.11](#)



## ¥ 売却する場合

空き家を売却し、次の所有者に活用してもらう方法もあります。不動産屋さん、「ひろしま空き家の窓口」への相談や三原市空き家バンクへの登録を検討してみてはいかがでしょうか。また、売却には、登記や敷地境界を確認する必要があります。もし、手続き等やり方がわからなければ、各種専門家団体に相談してみましょう。

[各種専門家に相談しよう！P.14](#)



### POINT

#### 相続した空き家を売却するとメリットがあります！

空き家を相続してから3年後の年末までに売却するなど一定の基準を満たす場合、譲渡所得から3,000万円が控除されます。

※税務署で控除の申告をする前に、空き家所在地の行政窓口にて「被相続人居住用家屋等確認書」の申請が必要です。



相続



耐震リフォーム  
(耐震性がある  
場合は不要)

除去



更地

特別控除の適用  
**3,000  
万円**

家屋所在地の市区町村で「被相続人居住用家屋等確認書」の交付を申請→受領

お住まいの管轄税務署で  
確定申告

特例適用